

令和3年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日時：令和3年12月7日(火)15:00～16:00

場所：Zoom を利用した Web 会議

出席者：10名

松村敏信（県立宮古病院）、菊池馨（県立八重山病院）、見里悟美（県立宮古病院）、我如古春美（北部地区医師会病院）、戸板孝文（県立中部病院）、友利寛文（那覇市立病院、足立源樹代理出席）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、平良美江（県立八重山病院）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、増田昌人（琉大病院がんセンター）

欠席者：3名

赤松道成（北部地区医師会病院）、伊波善之（沖縄県保健医療部健康長寿課）、朝倉義崇（県立中部病院）

陪席者：2名

吉田幸生（県立中部病院）、並里亜衣（琉大病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和3年度第2回離島・へき地部会議事要旨について

松村部会長より資料1に基づき、令和3年度第3回離島・へき地部会の議事要旨について説明があった。

2. その他

特になし。

【協議事項】

1. 離島・へき地における疾患別対応状況・課題の改訂について

資料2に基づき、「離島・へき地における疾患別対応・課題」について各病院の現状を確認した。

【子宮】

北部地区医師会病院：変わりなし。婦人科がないため対応不可。

宮古病院：化学療法も開始。

2回目以降の単剤という条件付きで制限はあるが婦人科も化学療法を行えている。進行がんについては対応していないが、早期がんの手術は対応している。

八重山病院：変わりなし。手術、化学療法は対応している。

【乳房】

北部地区医師会病院：手術と化学療法は院内で対応可能。術後の放射線療法は中南部の病院へ。

宮古病院：対応に関しては変わりなし。那覇西からの応援は終了。

八重山病院：前年通り変わりなし。月1回県外から乳がんの専門の先生が来ている。術前術後の化学療法中心。手術に関しては現在交渉中で、めどはたっていない。

【肺】

北部地区医師会病院：前年通り変わりなし。

宮古病院：放射線、手術は不可。化学療法のみ実施。診断をつけて本島へ紹介。

免疫チェックポイント阻害薬は現在使用できている。

八重山病院：化学療法は特に問題なく行われている。

【皮膚】

北部地区医師会病院：常勤の医師が1名在籍しているため、内容により化学療法は実施。手術は大学病院と連携して実施。

宮古病院：皮膚科常勤1名、応援1名。悪性腫瘍の手術対応可。化学療法については連携して対応可能。

八重山病院：皮膚科常勤が在籍している。手術、化学療法が対応可能。人手の問題もあり大きな手術は対応不可。

【腎・尿路(膀胱除く)・前立腺】

北部地区医師会病院：泌尿器科医がいない為、院内での対応不可。中南部の病院へ紹介している。

宮古病院：常勤1名。高リスクの症例を除いて外科と一緒に手術を行っている。

化学療法は、ホルモン療法等を含め行っている。

八重山病院：常勤医が1名。手術・化学療法は行っている。

【血液】

北部地区医師会病院：院内に血液内科の医師は不在だが、北部地区医師会の開業医がいるため、化学療法は内容により実施可能。

宮古病院：医療センターより応援の外来が月3回。現在は内服化学療法のみ。急性期については本島の病院へ紹介。

八重山病院：化学療法の対応可。急性期は不可。中部病院より月2回専門医の派遣あり。

り。

【胃】

北部地区医師会病院：消化器内科、消化器外科 6 名ずつ在籍。手術・化学療法は問題なく行えている。

宮古病院：腫瘍内科医の配置が今後必要になっていく。

八重山病院：ほぼ自己完結。内視鏡的な治療も可能。

【食道】

北部地区医師会病院：腹部食道のみ対応可。他は中南部の病院へ紹介。

宮古病院：本島の病院へ紹介。

八重山病院：多くの症例は本島へ紹介。

【大腸】

北部地区医師会病院：ほぼ自己完結。

宮古病院：ほぼ自己完結。標準治療 + α を目指している。現在は月 2 回浦添総合病院から手術の応援あり。

八重山病院：ほぼ自己完結。ESD も可。

【肝】

北部地区医師会病院：自己完結。専門医が 1 名いるため手術、化学療法は対応可。放射線治療は中南部の病院へ紹介。

宮古病院：手術対応可。放射線は本島内の病院へ紹介。今後人材の問題あり。

八重山病院：侵襲が大きくなければ手術も可。化学療法も対応可。今後人材の問題あり。

【胆道】

北部地区医師会病院：肝と同様。

宮古病院：肝と同様。

八重山病院：肝と同様。

【膵臓】

北部地区医師会病院：肝と同様。

宮古病院：肝と同様。今後の課題が問題になる。

八重山病院：肝と同様。

【甲状腺】

北部地区医師会病院：手術・化学療法は対応可。放射線療法は中南部の病院へ紹介。

宮古病院：放射線×。手術、化学療法は対応可(進行がんは不可、本島内の病院へ紹介)

八重山病院：対応できる医師が不在の為対応不可。診断まで。

【脳腫瘍】

北部地区医師会病院：対応不可。中南部の病院へ紹介。

宮古病院：対応不可。本島内の病院へ紹介。

八重山病院：腫瘍に関する手術は対応していない。

【骨軟部腫瘍】

3 病院とも大学病院へ。

増田委員より、足立委員と戸板委員へ北部・離島3地域における放射線治療の現状と課題、インディケーションについて質問があった。戸板委員より離島で放射線治療が必要な患者さんは基本、中部病院へ、患者さんの希望があれば空港周辺の病院へ紹介し治療を行っている状況と、各病院の放射線治療の現状として八重山病院は中部病院から月1回交代での診療、宮古病院は、南部医療センターの医師による症例の検討、北部地区医師会病院は琉大病院の有賀先生が定期的にカンファレンスを行っており、琉大病院で治療を行っている状況であるとの説明があった。課題については放射線医で放射線治療の適応に関して積極的に広報していく等が挙げられた。オブザーバー参加の吉田先生より適応について、放射線治療のみが標準治療の場合はほとんどもれがないが、手術と放射線治療の両方の選択が可能な場合や、オプションとして放射線治療がある場合、患者さんに放射線治療がどの程度提案されているかも評価すべきとの意見があった。

足立委員より緩和について、主治医からの提案の重要性やドクター達への啓蒙が十分ではないとの意見が挙げられた。また、戸板委員から Web を使ったカンサーボード等今後構築していくことや、ドクターに対する放射線治療に関する啓蒙活動が必要との意見も挙げられた。

吉田先生より診療状況について、頭頸部がんの項目が入っていないとの指摘があり、追加で確認した。

【頭頸部】

北部地区医師会：対応不可。

宮古病院：口腔外科医が在籍しているため、早期舌がんの対応は可。

八重山病院：口腔外科、耳鼻科があるため手術・化学療法はある程度対応可。放射線は不可。

足立委員より資料2の対応状況に関して、診断に関することが記載されていないが、各がん診断も可能であると考えてよいのかという質問があった。増田委員より患者会の要望により治療主体の表となっているが、診断に関することも今後事務局の方で書き加えて整理するとの回答があった。

2. 離島・へき地における疾患別対応状況・課題の公表について

増田委員より、今回整理した表の公開について各病院(北部地区医師会病院、県立宮古病院、県立八重山病院)へ確認があった。うちなーがんネットがんじゅうへの掲載について、3施設とも掲載については可能との回答が得られた。

3. 次回の開催日程について

松村部会長より議事次第のとおり説明があり、提案の日程で承認された。

4. その他

特になし。